

# ODA

## 特定非営利活動法人 沖縄県脊髄損傷者協会

# しゃりん 115号

編集：NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会 TEL & FAX. 098-886-4211 (平日9:30~17:30)  
 〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階 ボランティア小規模団体室  
 E-Mail office@okisekikyo.com facebook公開中！  
 HomePage http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/ 発行：沖縄県身体障害者福祉協会



## 新年会&30周年記念パーティー開催

1月24日土曜日、プラザハウス内ケニーズにて新年会と創立30周年記念パーティーを開きました。パーティーには、会員やその家族の他、普段お世話になっている関係者の方々もお見えになり、予想を上回る総勢約70名が集まりました。

また、この日はケントミバンドで有名な我如古盛健さんもお祝いに駆けつけ、ケントミバンドの生演奏を披露してくれました。さらに会員の小嶋晴樹さんと上里一之さんによるハーモニカの初のセッションも披露。イベントの間には歴代会長が挨拶をし、それぞれの30周年に対する思いを語っていただきました。さらに30周年の節目に、これまでお世話になった方々として大城健さん、車いす屋 おぎどうさん、ちはる歯科クリニックさん、四輪舎さんへ感謝状の贈呈も行いました。

先輩たちの生みの苦しみを経て築かれた「沖縄県脊髄損傷者協会」です。思いを紡いで、これからもピアサポートを柱に頑張っていきたいと思えます。

今回、パーティーを企画・運営して行くにあたっていろいろな方のご協力を得ることができ、いろいろとトラブルはあったものの無事終了することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。





## 新年のあいさつ

理事長 仲根建作

県旧年中は種々ご支援ご芳情をいただき 心からお礼申し上げます。

沖縄県脊髄損傷者協会は、皆様のご協力とご声援のお陰で、創立30周年を迎えることができました。今年も脊損並びにハンディのある方々に喜びの輪を広げますよう努力いたしますので、よろしく願い申し上げます。

1月24日に新宴会新年会&沖縄県脊髄損傷者協会設立30周年記念パーティを開催したところ、多くの皆様にお集まりいただき、厚く感謝申し上げます。懐かしい顔の会員・家族・そしてバックアップいただいている方々が予想以上に来てくださり、会場いっぱいまで車いすメンバーにとっては、動きづらい状況になってしまいました。すみませんでした。それでも新旧友好を深め楽しく懇談いただきました。

さて、本会は1983年に「沖縄脊髄損傷者連合会」の名称で結成し、2年前にNPO法人化し、現在の名称になりました。結成の立役者の横田清初代会長はじめ諸先輩たちの生みの苦しみの基に築き上げた

功績に敬意を表し感謝いたします。ありがとうございました。私は、結成2年ごろに関わったと思いますが、振り返れば東京の病院退院後、自宅で1年間本当に家族以外会うこともできなく、完全な引きこもりでした。仕方なく障害者施設に入所していたところ、並里さん(現在おそらく沖縄市役所の会計管理者)に誘われて入会したのが始まりでした。それから車いすツインバスケット結成のために病院回りをし、病院ロビーで脊損患者とトランプをしたり雑談したりしながら勧誘を行っていました。その活動は今でいう、ピアサポートと言えます。その時の活動によって仲間が増え、支え支えられる関係につながっていて、サポート活動の醍醐味を味わったように思います。それによって、一昨年に25年間務めた那覇市社会福祉協議会を辞め、今はこの沖脊協でどっぷりピアサポートをさせていただいています。一生涯の活動になるといいな—と思っています。これからも仲間のために自分のために続けることが望みなので、応援をお願いします。

来年の展望としましては、ITを活かしたサポートセンター設置を目指していますので、計画の見通しができたところで皆様にお知らせし、ご協力をいただきたいと思っています。今年も会員及び関係する全ての皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

## 公園のバリアフリー化を要請 さらにバリア化され唾然

自宅前の公園(緑ヶ丘公園)の出入口が車いすユーザーにとってバリアが多く。3年前から市行政へ改善の打診を、具体的に写真などを示して行っていました。その際には「予算のこともあり、直ぐにはできないが、改修の際に検討します」とのことでした。1年が経過して完成したとの知らせを受け、確認すると、なんと!逆にさらにバリア化されてしまっていました・・・。

情けないやらで、公園管理課に電話して、現場立会い(担当職員2名)のもと、確認と申し出を行いました。写真をご覧になると分かりますが、これではベビーカーも通れません。地域には双子のお子さん用のベビーカー利用の方もいて、たいへん困ってる

とのこと。

オートバイ侵入というマナー違反とのいたちごっこに頭を悩ませているのは理解していますが、いくらなんでも・・・です。多くの公園が同様にバリア化しているのではないかと心配!(仲根)







## 運転能力検査システム見学 ～タイヤランド沖縄さん～

宜野湾市大山の58号線沿いにある「タイヤランド沖縄」さんが、Driver Test Station (ドライバー・テストステーション、以下DTS)を導入したとのことなので見学に訪れました。DTSは、自動車運転に必要な筋力や反応時間をシミュレーターを使って計り、数値化して提示する仕組みで、運転ができるかどうかを判断する客観的な判断材料になり得る可能性を持っています。現在は試験でデータを集めている段階とのことで本格駆動はもうちょっと先になりそう。脊髄・頸髄損傷者だけでなく、片麻痺や難病といった方にとって運転をされていて心配なのは筋力低下に伴う運転技術の低下ですが、判断能力の衰えや反応時間の低下も心配。高齢者に関しても同じことが言えますが、DTSはこれらの方の運転能力を判断することに使えるような感じがしました。

タイヤランドさんでは、移動支援に関する研究や開発もされていて、昨年では「スロープ付車両」の既存車両の改造型の開発で試作品を完成されていま

す。今後は運転に関する包括的なサービス提供を目指しているとのことで、沖縄発での取り組みが見られそうです。

もう一つありがたいことがあります。脊髄損傷の女性を雇用していただき、今回の移動関連の福祉事業部門の担当になさっていたたことです。企業の持ち味を活かして社会事業に貢献する姿勢に感銘を受けました。感謝です。(仲根)

**タイヤランド沖縄 宜野湾市大山1丁目1-15**

<http://www.kaizoukun.jp/>



# R.C.Y.

Rehabilitation Clinic Yamaguchi

## リハビリテーションクリニック やまぐち

〒900-0003 那覇市安謝 1-10-28  
TEL 098-864-1100

— 診療スタッフ —

**医師** 院長 山口 健 リハビリテーション科専門医  
 副院長 山口 浩 整形外科専門医  
 リハビリテーション 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師

診療科目/リハビリテーション科・整形外科	▶ 身体機能訓練
▶ 身体能力訓練	▶ 言語訓練
▶ 摂食嚥下訓練	▶ 認知訓練

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～11:30	○	○	○	○	○	○
午後 2:00～ 6:00	○	○	○	○	○	△

▲ 浦添 国道58号 奥武山

安らぎ・癒し・元気を提供します。

リハビリテーションクリニック  
やまぐち

首里 ▶

メインプレイス

ファミリーマート ●

ローソン ●

那覇国熱高校 ●

天久らうぼう薬市 ●

佐川急便 ●

あつぷるタウン ●

興立博物館・美術館 ●



## 病があっても人として生きたい

～精神病とハンセン病を考える集会in沖縄～

去る11月29日(土)、国立療養所沖縄愛楽園で「病があっても人として生きたい・精神病とハンセン病を考える集会in沖縄」が開催されました。これは現在、国のほうで改正が進められている精神保健福祉法に関して、かつて国の誤った政策の下に長い間人権を蹂躪されてきた歴史を持つハンセン病問題と照らし合わせながら、誤った歴史を繰り返さないよう、県内外多くの人たちが集まりました。(上里)



facebookは会員登録しないでも閲覧できます



しゃりんに載せきれない福祉制度やお知らせ、医療や車いすなどの最新の技術の情報を日々アップしています。

[facebook.com/okisekikyo](https://www.facebook.com/okisekikyo)

## 最先端の障がい者用機器と技術で自立を目指すセミナー開催

障がいが重度のために移動が困難 / 介助者への負担が大きい / パソコンの操作がしにくい / 体力をすぐ使って長時間利用できない / 高齢化で動ける範囲や筋力が衰えてもっと楽な方法があれば・・・。

リハビリテーション工学とは、このような思いを持つ障がい者の方に対して工学の最先端技術を用いた福祉機器や用具の開発などを行う分野です。例えば電動車いす、電気信号を使って体を動かせるロボットアームや、体がまったく動かなくても視線でパソコンを操作できる「マイトビー」などは、すべてリハビリテーション工学の分野といえます。

さて、この「しゃりん」の5ページに掲載した「リハビリテーション工学を活用した生活セミナー」では、県外から電動車いす利用の頸髄損傷者の方を2名お招きし、リハ工学の技術を利用して自立している生活の様子を紹介していただいたり、最先端のリハ工学を使った福祉機器を紹介していただきます。参加を希望される方は6ページの申込書に記入してFAXいただくか、メールやfacebookでご返事下さい。ちなみに会場となる那覇市総合福祉センターは完全バリアフリーとなっております。

参加費として一人500円をいただきますが、介助者の方は無料となっております。



ハネリストの蕨澤 孝(ふざわたかし)さん

なお、このセミナーの9ヶ月後の11月13日から3日間、毎年全国各地で開催している「リハビリテーション工学カンファレンス」を沖縄県総合福祉センターにて開催します。2月のセミナーはこの大会のプレイベント。最先端の機器や技術などが展示されますので、開催の際にはぜひご来場ください。

セミナーfacebook (沖脊協HPからも行けます)  
<https://www.facebook.com/events/156313702726532/>

第30回リハ工学カンファレンス in おきなわ  
<http://www.resja.or.jp/conf-30/>

平成26年度那覇市地域福祉基金助成事業「共生社会づくり講座」第2弾

# リハビリテーション工学を 活用した生活セミナー



障がいをもつ人々の生活を豊かに実現するために、工学的支援技術として身近に存在している、移動手段、コンピューター、コミュニケーション、姿勢保持、スポーツ、レクリエーション、住宅改造といった様々な技術分野があります。それらを活用して自立（自律）している障がい者は多くいます。セミナーでは、実際にリハ工学を活用して生活する県内外の障がい当事者が意見交換を行い、様々な支援者（家族、リハ工学エンジニア、建築、まちづくり、行政、教育、リハビリ関係者）を交えて、「離島におけるリハビリテーション工学の可能性」について学びあいます。

※リハビリテーション工学とは：物理学や電子工学、機器工学、精密機械工学、情報工学システム工学などの知識を応用して、工学の最先端技術を駆使し、福祉機器や用具の開発・研究を行なう学問です。

- 日時：2015年2月21日（土） 13:00～16:30
- 場所：那覇市総合福祉センター 2階大会議室（那覇市金城3-5-4）
- 定員：40名（定員に達し次第、締め切ります）
- 参加費：500円
- 申込先・問い合わせ先：NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会（担当：仲根・砂川）

電話：098-886-4211 E-mail:office@okisekikyo.com

- プログラム：

13:00-13:20	挨拶と自己紹介
13:20-14:40	事例発表（沖縄県在住障がい者・県外障がい者・リハエンジニア）
14:40-15:00	休憩・展示紹介と見学
15:00-16:30	パネルディスカッション
16:30	閉会



- 主催：NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会
- 共催：一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
- 協力：第30回リハ工学カンファレンス沖縄実行委員会

# 参加申込

氏名・所属・連絡先(電話・メール)などの下記の項目をご記入の上、電話・メール・Facebookにてお送りください。

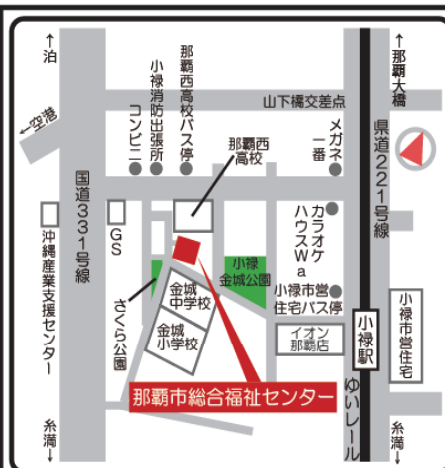
氏名	ふりがな	所属	
住所	市区町村までで結構です	電話	
	都道 府県	市区 町村	メール
区分	車椅子の使用		介助者の有無
<input type="checkbox"/> 会員 (沖縄県脊損協会 / リハ工学協会) <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 一般 (非会員)	<input type="checkbox"/> 電動車椅子 <input type="checkbox"/> 手動車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ( )		介助者 ___ 名同行
交通手段	<input type="checkbox"/> 自家用車 <input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input type="checkbox"/> その他 (タクシー等)		

情報保障(手話通訳) ※事前申込制。希望される方は必ず右に✓を入れてください。

要

その他ご要望があればお書きください。

**電話・メール・facebookによる申込み / 定員に達し次第締め切ります。**



【会場】 那覇市総合福祉センター 2階大会議室

(沖縄県那覇市金城3-5-4 <http://w1.nirai.ne.jp/nkg-109/>)

【アクセス】

- 沖縄都市モノレール(ゆいレール): 「小禄駅」より徒歩10分
- 路線バス:
  - ・市内線 那覇バス17番 石嶺線「小禄駅前」停留所より徒歩10分
  - ・市外線 沖縄バス89番糸満(高良)線(那覇西高校経由・西崎経由糸満市役所行き)「那覇西高校前」停留所より徒歩10分
  - ・市外線 琉球バス交通56番浦添線(浦西団地折り返し)(西原折り返し)「那覇西高校前」停留所より徒歩10分

【申込先・問い合わせ先】 NPO法人 沖縄県脊髄損傷者協会(担当:仲根、砂川)

〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1 西棟2階

TEL・FAX: 098-886-4211

E-mail: [office@okisekikyo.com](mailto:office@okisekikyo.com)

Facebook: <https://www.facebook.com/okisekikyo>



## 新車両届きました ～損保ジャパン記念財団助成～



損保ジャパン記念財団さんからの助成で購入した軽車両の贈呈式を12月26日に県総合福祉センターの一角で行いました。この車両へはニッシン自動車工業沖縄さんからも車いす対応の手動装置を寄贈・取付整備をしていただいていたので、併せて寄贈式も行いました。

この車両は、ピアサポート活動と手動装置希望者向けの試乗に使います。

車両はミライース(型式LA-300S)。トランクルームには、後ろの席を倒さずに折りたたんだ日常用車いすが1台辛うじて入るスペースがあります。

また、この車両は手動装置のみ設置されており、後ろにスロープは付いておりません。

借用や市場をご希望の方は事務局までご連絡を!



## みんなの善意 例年以上 ～「歳末たすけあい運動」街頭募金～

クリスマスも迫った12月23日、例年参加させていただいている『「歳末たすけあい運動」街頭募金』に参加しました。

今年は場所をサンエーメインプレイスに場所を移し、沖縄県脊髄損傷者協会と車いすツインバスケットチーム「沖縄フェニックス」との合同で行いました。フェニックスはシネマQ前に、沖脊協役員は1F東入口前にスタンバイし、1時間募金活動を行いました。さすがにクリスマスシーズンともあって人の出入りが多く、それに比例して募金する方も増えていきました。これは私の社協時代25年間の街頭募金活動中でもトップクラスに入るほどの募金状況で



はなかったかと思えます。

千円札も多く、大人も子ども達が次から次と募金してくれました。沖縄は共同募金の個人額は全国的にも高いと思えます。

参加してくれた皆さんもちむぐるのうちなーにうれしくなりました。お疲れさまでした。

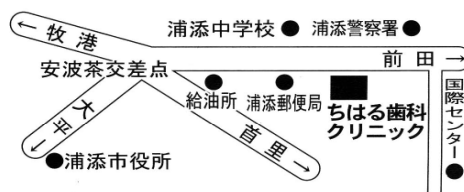
## ちはる歯科クリニック CHIHARU DENTAL CLINIC

浦添市仲間3-3-9

☎(098) 877-6480

FAX (098) 877-9251

E-mail chiharu@ryukyu.ne.jp



訪問歯科診療と口腔ケアを行なっています!

対象者: 在宅療養をしている個人で、通院が不可能な方。  
病院、保健施設等に入所(院)されている方、障害者施設に入所の方。

およそ3年前のある日、私は右の肩甲骨辺りに何やら肩凝りや筋肉痛とは違う痛みを感じて、整形外科病院へ行きました。そこでは痛み止めの注射をされるくらいでしたが、2、3日しても痛みが治まらなかったため、整形外科は「精密検査のできるT病院で診てもらおうように」と紹介状を書いてくれました。



来間忠男  
さん

体不自由でも不幸ではない

T病院での検査日はそのひから4日後となりました。ところが検査前日、起床すると今まで経験したことのない両足のふらつきがあり、慌てて妻の運転でT病院へ向かいました。着いても車から立って降りることはできず、外来のために用意された車いすに乗って受付をしました。午前8時ごろ病院に着き、MRI検査の結果を見た医師から緊急手術などの説明を聞き終えたのが午後2時ごろでした。胸の部分の脊髄に細菌が入って膿ができて神経を圧迫し胸から下がまひしているため、膿を除去するというのが説明の要旨でした。

「ただ膿を取り除く」手術とだけ聞いていたので、私は特に考えることなく手術に承諾しました。手術は無事成功したので元の身体に戻るものと家族みんな信じていました。ところが担当医から

「今後は車いすでの生活が余儀なくされるので…」と話がありました。あの時の絶望感とショックの大きさは今でも忘れることはありません。

病名は長ったらしく、よく理解できない「頸胸移行部脊髄硬膜外腫瘍」。脊髄の損傷を思わせる文字は見当たりません。後になって分かったことですが、スポーツや交通事故などで脊髄を直接損傷して起こる症状とまったく同じで、まさに脊髄損傷(脊損)です。私はそれから、未知と無知の世界へ突入することになりました。「これからどうやって生きていけば良いのか」。脊損への無知のみならず、医療や介護保険制度、市町村などの身障者に対する諸制度に関する無知の数々は恥ずかしい限りでした。

しかし、県脊髄損傷者協会のスタッフや脊損の先輩方の数多くのアドバイスを糧に「体は多少(?)不自由でも、決して不幸ではない」という新年でやっています。そして、世界の最先端を誇る地位にある日本の再生医療技術が、私たち脊損の患者に一般的な治療法として利用される日が一日も早く訪れることを祈るばかりです。

(2014年10月11日に琉球新報に掲載された「心の扉を開いたら」より)

上与那原さんおめでとうございます  
～第19回コロニー大賞授賞～

北京パラリンピックメダリストで私たちの会員でもある上与那原寛和さんが、第19回コロニー大賞を受賞されました。私たちの会員がコロニー大賞を受賞するのは上里一之さんに次いで上与那原さんで二人目。おめでとうございます!



いつも会費をお支払い頂きありがとうございます。まだの方は事務所へ直接お越し頂くか振込をご利用下さい。

会費納入のおねがい  
正会員 年間 6,000円  
賛助会員(個人) 一口 3,000円  
賛助会員(団体) 一口 5,000円



楽天銀行 第二営業支店(普通) 7104311  
トクヒ) オキナワケンセキズイソンショウシャキョウカイ



沖縄銀行 石嶺支店 (普通) 1520193  
特非) 沖縄県脊髄損傷者協会 理事長 仲根 建作



琉球銀行 石嶺支店 (普通) 445603  
特定非常利活動法人沖縄県脊髄損傷者協会 理事 仲根 建作

発行人 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座一〇三八番地一  
沖縄県身体障害者福祉協会 編集人

沖縄県那覇市首里石嶺町四一三七三一  
沖縄県総合福祉センター西棟二F  
ボランティア小規模団体室・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会しゃりん編集部

砂川昭人

購読料は会費に含む  
【領価 二十円】